



## 2024年4月期 決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月31日

上場会社名 株式会社ヤガミ  
コード番号 7488 URL <https://www.yagami-inc.co.jp/>

上場取引所 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 啓介

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長

(氏名) 佐貫 匡

TEL 052-951-9252

定時株主総会開催予定日 2024年7月9日

配当支払開始予定日

2024年6月24日

有価証券報告書提出予定日 2024年7月11日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年4月期の連結業績(2023年4月21日～2024年4月20日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年4月期	10,545	3.2	1,861	1.7	1,883	1.5	1,203	2.2
2023年4月期	10,889	1.8	1,831	1.1	1,855	1.1	1,177	8.4

(注) 包括利益 2024年4月期 1,330百万円 (3.7%) 2023年4月期 1,283百万円 (3.2%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年4月期	229.46		9.2	10.3	17.7
2023年4月期	224.47		9.3	10.3	16.8

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年4月期	18,484	14,120	72.2	2,544.75
2023年4月期	18,143	13,613	71.2	2,462.23

(参考) 自己資本 2024年4月期 13,347百万円 2023年4月期 12,915百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年4月期	1,099	625	823	7,607
2023年4月期	1,409	374	644	7,956

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年4月期		0.00		157.00	157.00	823	69.9	6.5
2024年4月期		0.00		161.00	161.00	844	70.2	6.4
2025年4月期(予想)		74.00		74.00	148.00		69.9	

### 3. 2025年4月期の連結業績予想(2024年4月21日～2025年4月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,720	1.1	770	3.9	780	4.1	500	2.9	95.32
通期	10,340	1.9	1,710	8.2	1,730	8.2	1,110	7.8	211.62

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年4月期	5,300,000 株	2023年4月期	5,300,000 株
期末自己株式数	2024年4月期	54,717 株	2023年4月期	54,676 株
期中平均株式数	2024年4月期	5,245,316 株	2023年4月期	5,245,324 株

(参考) 個別業績の概要

2024年4月期の個別業績(2023年4月21日～2024年4月20日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年4月期	7,347	0.9	1,241	10.7	1,312	12.6	902	10.7
2023年4月期	7,279	4.1	1,121	9.7	1,165	9.0	815	15.7

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年4月期	172.15	
2023年4月期	155.56	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2024年4月期	14,107		10,725		76.0		2,044.75	
2023年4月期	13,874		10,593		76.3		2,019.55	

(参考) 自己資本 2024年4月期 10,725百万円 2023年4月期 10,593百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度は、新型コロナウイルス感染症の収束により、文教分野の関連予算が大幅に縮小された他、国内外における感染症対策需要も大きく減退しました。一方で、コロナ禍で滞っていた学校校舎の改修工事に進捗が見られた他、半導体業界を中心としたエレクトロニクス関連産業においては、地政学的リスクの回避や社会のデジタル化を背景とした設備投資の国内回帰が進みました。

このような状況のもと、当社グループでは、学校向け実習台や収納戸棚類の拡販を進めた他、半導体メーカーの設備投資に伴う保温・加熱用ヒーターの受注獲得や、国内外での環境試験装置の拡販に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は105億45百万円（前年同期比3.2%減）、営業利益は18億61百万円（同1.7%増）、経常利益は18億83百万円（同1.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は12億3百万円（同2.2%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (理科学機器設備部門)

国内外におけるコロナ禍に伴う滅菌器の特需が無くなったものの、学校のICT化に対応した理科実験器具の提案や、校舎の長寿命化改修工事に伴う実習台や収納戸棚類の納入が好調に推移しました。

この結果、売上高は50億23百万円（前年同期比1.7%増）、セグメント利益は7億67百万円（同7.8%増）となりました。

#### (保健医科機器部門)

新規大口案件の獲得や買い替え需要の取り込み等によりAEDの売上が好調を維持した他、オージオメーターやC/O2モニターなどリニューアル商品の拡販に努めたものの、学校向け感染症対策予算の縮小に伴って保健室設備品の需要が通常期に戻りつつあるため、売上・利益とも前期実績を下回りました。

この結果、売上高は27億4百万円（前年同期比15.9%減）、セグメント利益は5億39百万円（同20.3%減）となりました。

#### (産業用機器部門)

国内における半導体メーカーの設備投資増加に伴い、品質検査等を目的とした環境試験装置や、製造設備に用いる保温・加熱用電気ヒーターの販売が好調だった他、東アジア地域を中心とした海外市場においても、エネルギー・半導体分野などで環境試験装置の販売が堅調に推移しました。

この結果、売上高は28億17百万円（前年同期比3.0%増）、セグメント利益は5億75百万円（同23.8%増）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は184億84百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億40百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が3億59百万円、商品及び製品が1億57百万円減少した一方、電子記録債権が1億11百万円、リース投資資産が1億80百万円、建物及び構築物が1億77百万円、有価証券及び投資有価証券が1億72百万円、長期預金が3億円増加したこと等によるものであります。負債は43億63百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億66百万円減少しました。これは主に、電子記録債務が1億61百万円減少したこと等によるものであります。純資産は前連結会計年度末に比べて5億7百万円増加し141億20百万円となり、自己資本比率は72.2%となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3億49百万円減少し、76億7百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、10億99百万円（前年同期は14億9百万円の獲得）となりました。これは主に、法人税等の支払額5億43百万円、仕入債務の減少額2億53百万円があった一方、税金等調整前当期純利益18億78百万円、棚卸資産の減少額1億45百万円があったこと等によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、6億25百万円（前年同期は3億74百万円の獲得）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入18億20百万円、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入4億円があった一方、定期預金の預入による支出21億10百万円、有価証券及び投資有価証券の取得による支出5億円、有形固定資産の取得による支出1億60百万円があったこと等によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、8億23百万円（前年同期は6億44百万円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払額8億23百万円があったこと等によるものであります。

#### (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年4月期	2021年4月期	2022年4月期	2023年4月期	2024年4月期
自己資本比率 (%)	75.0	70.7	69.8	71.2	72.2
時価ベースの 自己資本比率 (%)	63.2	71.9	65.8	75.1	74.3
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (年)	—	—	—	—	—
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍)	196,318.3	8,746,344.7	517,365.9	693,361.8	577,249.0

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

※有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。なお、リース債務は同一条件による転リース取引によるものであり転リース差益は生じないため、キャッシュ・フロー対有利子負債比率算定における有利子負債からは除いております。

※営業キャッシュ・フロー及び利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を用いております。

#### (4) 今後の見通し

文教分野では、コロナ禍による感染症対策需要は一巡したものの、教育現場でのICT活用や学校施設の長寿命化改修は今後も継続が見込まれております。

民間分野では、国内でのAED普及や、半導体メーカーによる設備投資が引き続き期待される一方、海外市場においては欧米での金融引き締めや地政学的リスクの高まりにより、景気の先行きは不透明な状況が続くことが予想されます。

このような状況のもと当社グループでは、ICT化に対応した理科実験機器の拡販や校舎改修に伴う施設設備機器のタイムリーな提案活動を推進いたします。

民間分野に対しては、AED「8年保証安心パック」を軸とした独自の提案により、買い替え需要の取り込みと新たなユーザーの獲得を図る他、半導体関連企業をはじめとする主要顧客向けに、保温・加熱用電気ヒーターの拡販に努めてまいります。また連結子会社の㈱平山製作所において、滅菌器や環境試験装置の更なる品質向上とサービス体制の強化により、アジア地域における競争力を強化するとともに、欧米など他地域への販売網の拡充にも努めてまいります。

こうした状況を踏まえ、次期の連結業績の見通しにつきましては、売上高103億40百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益17億10百万円（同8.2%減）、経常利益17億30百万円（同8.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益11億10百万円（同7.8%減）を予想しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

### 3. 連結財務諸表及び主な注記

#### (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年4月20日)	当連結会計年度 (2024年4月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,766,252	9,407,177
受取手形、売掛金及び契約資産	1,806,456	1,719,039
電子記録債権	733,309	844,562
リース投資資産	376,735	556,776
有価証券	394,214	199,660
商品及び製品	1,330,331	1,172,524
仕掛品	124,291	167,198
原材料及び貯蔵品	600,814	570,218
その他	124,401	124,853
貸倒引当金	—	△233
流動資産合計	15,256,807	14,761,778
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,537,464	1,740,695
減価償却累計額	△1,217,276	△1,243,139
建物及び構築物（純額）	320,188	497,555
土地	1,346,573	1,346,573
建設仮勘定	122,473	55,598
その他	703,951	646,320
減価償却累計額	△650,812	△591,045
その他（純額）	53,139	55,274
有形固定資産合計	1,842,374	1,955,002
無形固定資産		
電話加入権	4,492	4,492
ソフトウェア	17,911	69,691
ソフトウェア仮勘定	1,440	1,522
無形固定資産合計	23,844	75,706
投資その他の資産		
投資有価証券	617,510	984,636
繰延税金資産	370,117	370,024
長期預金	—	300,000
その他	38,333	37,511
貸倒引当金	△4,999	△157
投資その他の資産合計	1,020,961	1,692,014
固定資産合計	2,887,180	3,722,723
資産合計	18,143,988	18,484,501

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年4月20日)	当連結会計年度 (2024年4月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	531,528	448,204
電子記録債務	1,323,359	1,161,800
リース債務	47,397	55,417
未払金	60,286	63,290
未払法人税等	268,426	321,185
契約負債	605,696	619,309
賞与引当金	380,318	393,265
その他	190,091	190,958
流動負債合計	3,407,105	3,253,432
固定負債		
リース債務	289,517	284,349
長期預り保証金	235,112	234,701
繰延税金負債	—	30,254
退職給付に係る負債	363,798	369,662
役員退職慰労引当金	225,671	182,156
その他	9,095	9,095
固定負債合計	1,123,195	1,110,219
負債合計	4,530,301	4,363,651
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	787,299	787,299
資本剰余金	676,811	676,811
利益剰余金	11,437,687	11,817,768
自己株式	△34,481	△34,597
株主資本合計	12,867,317	13,247,282
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,901	100,648
その他の包括利益累計額合計	47,901	100,648
非支配株主持分	698,467	772,919
純資産合計	13,613,686	14,120,850
負債純資産合計	18,143,988	18,484,501

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月21日 至 2023年4月20日)	当連結会計年度 (自 2023年4月21日 至 2024年4月20日)
売上高	10,889,286	10,545,080
売上原価	6,613,948	6,243,799
売上総利益	4,275,337	4,301,280
販売費及び一般管理費	2,443,980	2,439,383
営業利益	1,831,357	1,861,897
営業外収益		
受取利息	2,274	2,101
有価証券利息	9,097	8,410
受取配当金	4,363	6,355
不動産賃貸料	623	617
受取保険金	4,506	2,380
貸倒引当金戻入額	2,603	—
その他	2,175	2,611
営業外収益合計	25,644	22,476
営業外費用		
支払利息	237	266
為替差損	221	—
支払補償費	1,467	—
その他	73	576
営業外費用合計	1,999	843
経常利益	1,855,002	1,883,531
特別損失		
固定資産除却損	16,647	4,793
特別損失合計	16,647	4,793
税金等調整前当期純利益	1,838,355	1,878,737
法人税、住民税及び事業税	579,206	593,598
法人税等調整額	△8,697	7,090
法人税等合計	570,509	600,689
当期純利益	1,267,846	1,278,048
非支配株主に帰属する当期純利益	90,437	74,451
親会社株主に帰属する当期純利益	1,177,408	1,203,596

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月21日 至 2023年4月20日)	当連結会計年度 (自 2023年4月21日 至 2024年4月20日)
当期純利益	1,267,846	1,278,048
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,591	52,746
その他の包括利益合計	15,591	52,746
包括利益	1,283,437	1,330,794
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,192,999	1,256,343
非支配株主に係る包括利益	90,437	74,451

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月21日 至 2023年4月20日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	787,299	676,811	10,905,454	△34,481	12,335,083
当期変動額					
剰余金の配当			△645,174		△645,174
親会社株主に帰属する当期純利益			1,177,408		1,177,408
自己株式の取得				—	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	532,233	—	532,233
当期末残高	787,299	676,811	11,437,687	△34,481	12,867,317

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	32,310	32,310	608,029	12,975,424
当期変動額				
剰余金の配当				△645,174
親会社株主に帰属する当期純利益				1,177,408
自己株式の取得				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	15,591	15,591	90,437	106,029
当期変動額合計	15,591	15,591	90,437	638,262
当期末残高	47,901	47,901	698,467	13,613,686

当連結会計年度(自 2023年4月21日 至 2024年4月20日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	787,299	676,811	11,437,687	△34,481	12,867,317
当期変動額					
剰余金の配当			△823,515		△823,515
親会社株主に帰属する当期純利益			1,203,596		1,203,596
自己株式の取得				△115	△115
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	380,080	△115	379,965
当期末残高	787,299	676,811	11,817,768	△34,597	13,247,282

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	47,901	47,901	698,467	13,613,686
当期変動額				
剰余金の配当				△823,515
親会社株主に帰属する当期純利益				1,203,596
自己株式の取得				△115
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	52,746	52,746	74,451	127,198
当期変動額合計	52,746	52,746	74,451	507,163
当期末残高	100,648	100,648	772,919	14,120,850

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月21日 至 2023年4月20日)	当連結会計年度 (自 2023年4月21日 至 2024年4月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,838,355	1,878,737
減価償却費	75,197	69,324
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	21,115	5,863
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	23,367	△43,515
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△75,456	12,946
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,603	△4,608
受取利息及び受取配当金	△15,736	△16,866
受取保険金	△4,506	△2,380
支払利息	237	266
固定資産除却損	16,647	4,793
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	462,883	△18,994
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△79,574	145,496
仕入債務の増減額 (△は減少)	△252,129	△253,414
その他	46,319	△156,912
小計	2,054,116	1,620,736
利息及び配当金の受取額	23,324	20,254
利息の支払額	△2	△1
保険金の受取額	4,506	2,380
法人税等の支払額	△672,340	△543,709
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,409,604	1,099,659
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,820,000	△2,110,000
定期預金の払戻による収入	1,820,000	1,820,000
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	—	△500,000
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	600,000	400,000
有形固定資産の取得による支出	△206,125	△160,976
無形固定資産の取得による支出	△5,656	△70,029
その他	△14,177	△4,079
投資活動によるキャッシュ・フロー	374,040	△625,085
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	—	△115
配当金の支払額	△644,975	△823,483
財務活動によるキャッシュ・フロー	△644,975	△823,599
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17	△49
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,138,651	△349,074
現金及び現金同等物の期首残高	6,817,600	7,956,252
現金及び現金同等物の期末残高	7,956,252	7,607,177

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

### 1 報告セグメントの概要

#### (1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、商品グループ別の事業本部を置き、各事業本部は各商品グループについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は事業本部を基礎とした商品グループ別セグメントから構成されており、「理科学機器設備」、「保健医科機器」及び「産業用機器」の3つを報告セグメントとしております。

#### (2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「理科学機器設備」は収納壁、調理台、実験台、顕微鏡、電源装置、滅菌器等を当社が販売しております。このうち収納壁、調理台、実験台等の木工商品は㈱ヤガミファニテクが製造しております。また滅菌器等は㈱平山製作所が製造し、独自ルートでも販売しております。「保健医科機器」は、蘇生法教育人体モデル、AED(自動体外式除細動器)、視力・聴力検査器、身長計、体重計等を当社が販売しております。「産業用機器」は、保温・加熱用電気ヒーターを当社が販売し、環境試験装置等を㈱平山製作所が製造・販売しております。

### 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

セグメント利益は、経常利益ベースの数値であります。資産については、事業セグメントに配分しておりません。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報  
前連結会計年度(自 2022年4月21日 至 2023年4月20日)

(単位：千円)

	報告セグメント			計	調整額	連結財務諸表 計上額
	理科学 機器設備	保健医科機器	産業用機器			
売上高						
日本	3,923,988	3,163,681	1,334,272	8,421,941	—	8,421,941
アジア	582,685	3,896	1,334,034	1,920,616	—	1,920,616
その他	430,201	—	66,955	497,157	—	497,157
顧客との契約から生じる収益	4,936,875	3,167,577	2,735,262	10,839,715	—	10,839,715
その他の収益	—	49,570	—	49,570	—	49,570
外部顧客への売上高	4,936,875	3,217,148	2,735,262	10,889,286	—	10,889,286
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,936,875	3,217,148	2,735,262	10,889,286	—	10,889,286
セグメント利益	712,216	677,834	464,952	1,855,002	—	1,855,002
その他の項目						
減価償却費	36,979	20,587	17,630	75,197	—	75,197
受取利息及び有価証 券利息	5,362	4,008	2,001	11,372	—	11,372
支払利息	84	153	—	237	—	237

- (注) 1. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と一致しております。  
2. 資産については、事業セグメントに配分しておりません。  
3. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。  
4. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」に基づく収益であります。

当連結会計年度(自 2023年4月21日 至 2024年4月20日)

(単位：千円)

	報告セグメント			計	調整額	連結財務諸表 計上額
	理科学 機器設備	保健医科機器	産業用機器			
売上高						
日本	4,248,914	2,454,564	1,593,344	8,296,823	—	8,296,823
アジア	501,508	7,795	1,153,921	1,663,225	—	1,663,225
その他	272,735	—	70,131	342,867	—	342,867
顧客との契約から生じる収益	5,023,158	2,462,359	2,817,398	10,302,916	—	10,302,916
その他の収益	—	242,164	—	242,164	—	242,164
外部顧客への売上高	5,023,158	2,704,523	2,817,398	10,545,080	—	10,545,080
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,023,158	2,704,523	2,817,398	10,545,080	—	10,545,080
セグメント利益	767,798	539,953	575,778	1,883,531	—	1,883,531
その他の項目						
減価償却費	35,846	16,238	17,238	69,324	—	69,324
受取利息及び有価証 券利息	4,950	3,795	1,765	10,511	—	10,511
支払利息	97	169	—	266	—	266

- (注) 1. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と一致しております。  
2. 資産については、事業セグメントに配分しておりません。  
3. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。  
4. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」に基づく収益であります。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月21日 至 2023年4月20日)	当連結会計年度 (自 2023年4月21日 至 2024年4月20日)
1株当たり純資産額	2,462.23円	2,544.75円
1株当たり当期純利益	224.47円	229.46円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎

項目	前連結会計年度 (2023年4月20日)	当連結会計年度 (2024年4月20日)
純資産の部の合計額(千円)	13,613,686	14,120,850
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	698,467	772,919
(うち非支配株主持分(千円))	(698,467)	(772,919)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	12,915,218	13,347,930
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の 普通株式の数(株)	5,245,324	5,245,283

3 1株当たり当期純利益の算定上の基礎

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月21日 至 2023年4月20日)	当連結会計年度 (自 2023年4月21日 至 2024年4月20日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,177,408	1,203,596
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	1,177,408	1,203,596
普通株式の期中平均株式数(株)	5,245,324	5,245,316

(重要な後発事象)

該当事項はありません。